令和6年1月16日(火)
第10回 うすきプラットフォーム

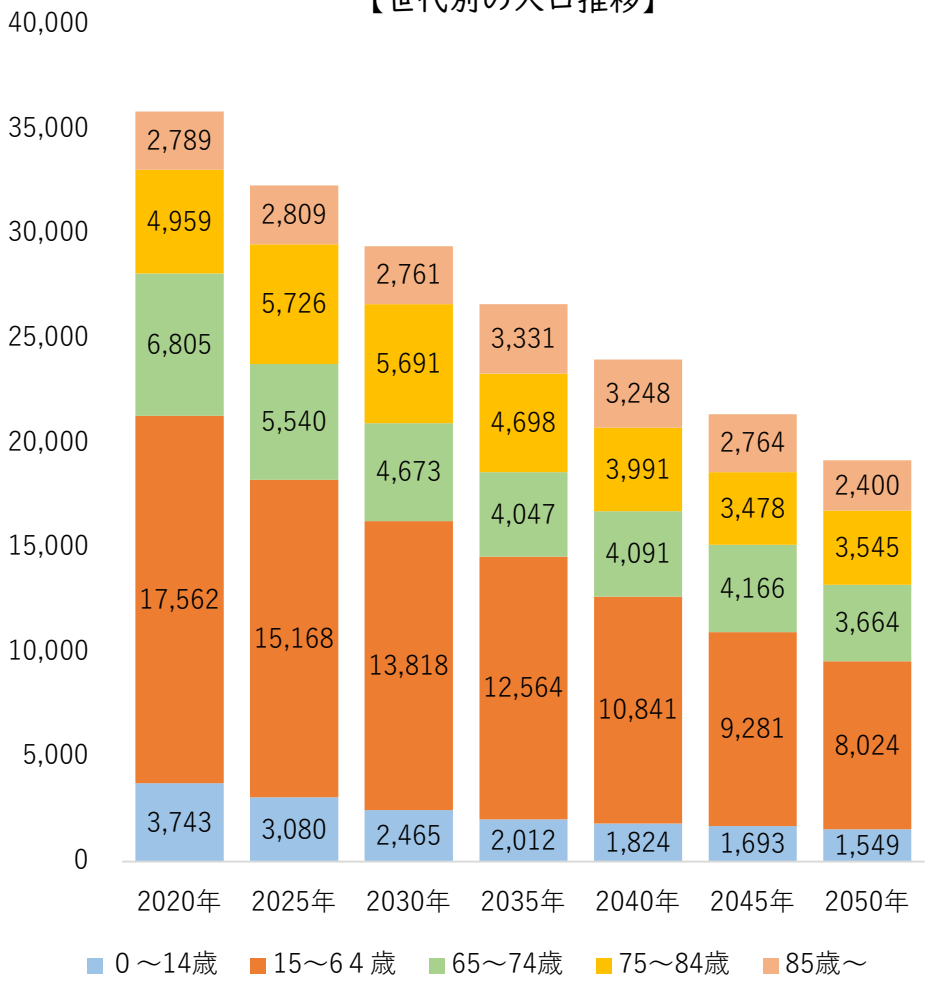
「地域コミュニティ」との協働について

臼杵市地域力創生課

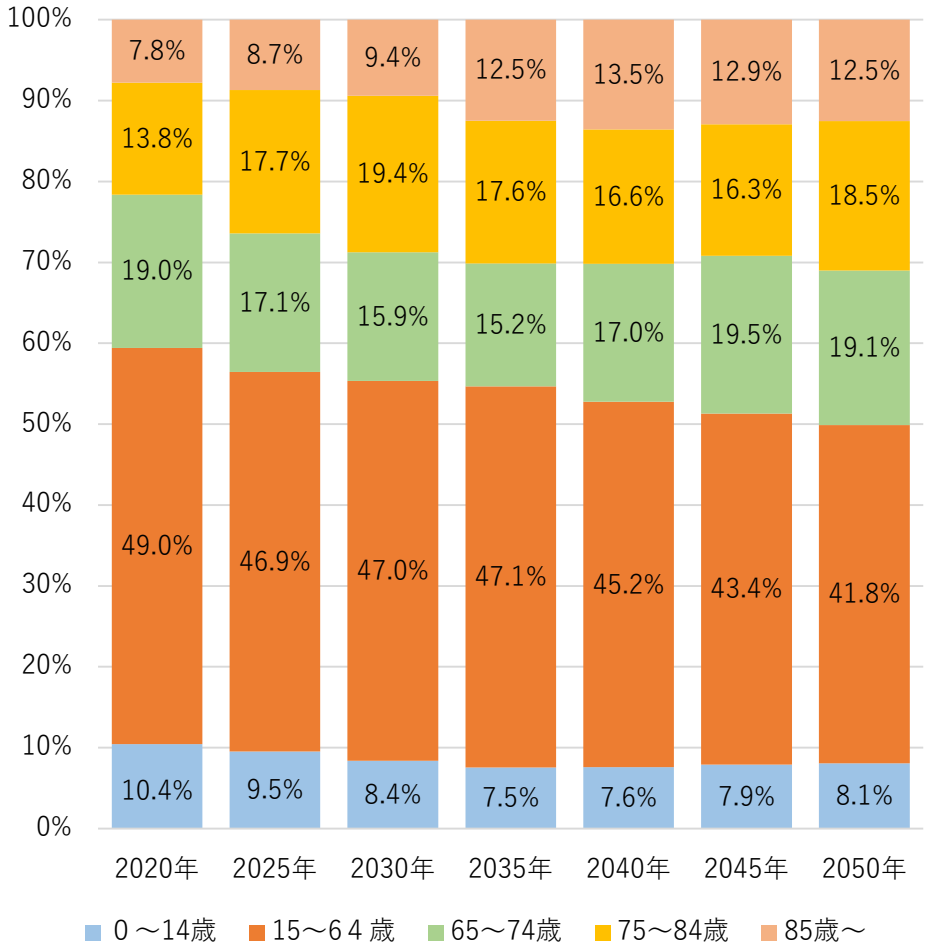
臼杵市の将来人口推計について（令和5年推計）

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
総人口	36,158	32,750	29,907	27,161	24,535	22,088	19,842

【世代別の人口推移】



【世代別の構成比率】



国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（令和5（2023）年推計）に基づいて試算：2020年は国勢調査による実績値

臼杵市が抱える課題の例について（再掲）

大項目	中項目	小項目	
人口減少	少子化	廃校（児童数の減少）	社会性を身につける機会の減少
	高齢化	人口の自然減（多死社会）	医療・介護の人材不足
		高齢者世帯の増加	医療・介護のニーズ増加
		移動の困難さ	認知症の増加
	社会や人口構造の変化	生活課題の複雑化・複合化	伝統文化や行事等の衰退
		離婚、未婚の増加	地縁・社縁・血縁等の希薄化
	担い手不足	全産業での労働者不足	行政職員の減員
		医療・介護・福祉職の不足	自治機能（住民自治）の低下
	空き家・空地の増加	居住環境の悪化	災害や犯罪リスクの増加
	遊休農地の増加	食料自給率の低下	景観の悪化
	地域経済の縮小	人口流出による社会減	過疎化（関係・交流人口の減少）
		後継者の不足	生活の不便さ
自然災害（環境保全）	地震・津波	避難ルートやBCPの確立	要支援者の把握と対応
	台風・水害	停電、断水、土砂崩れ	要支援者の把握と対応
	感染症拡大	交流や機会の減少	身近なつながりの減少
	カーボン・ニュートラル	環境汚染	生活環境の悪化

地域振興協議会について

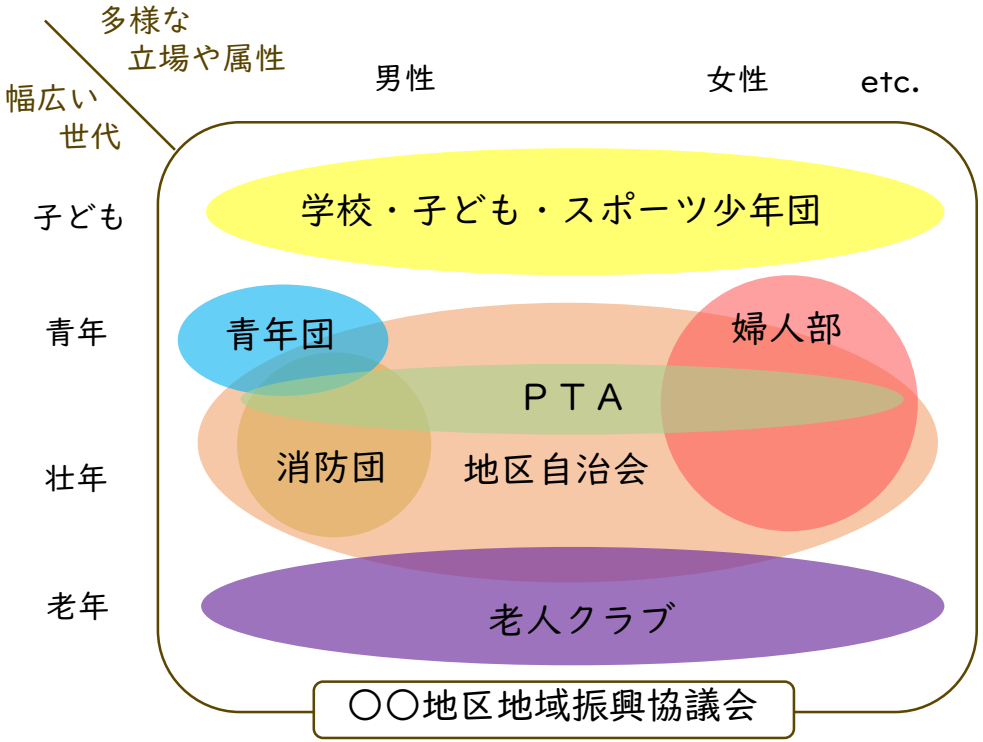
少子高齢化・人口減少の現実を見据えた対策のひとつとして、地域活動の中心を担っていく組織「地域振興協議会」を旧小学校区（１８地区）ごとに設置完了しています。世代や立場、団体等の枠を超えて連携することにより、地域活動が活性化するだけでなく、身近な地域でのつながりを深め、地域の一体感や日常生活での安心感を作り上げることを目的としています。

地域振興協議会への支援

- 市役所職員が地域活動に参加（地域パートナー）
- 市報などを活用した地域ごとの魅力発信
- 市役所が行う各種事業で地域活動をサポート
- 地域活動に対する財政支援
- 地域間交流を図るための懇談会等の開催

【世代や属性を超えた多様なつながりの創出】

地域振興協議会のイメージ



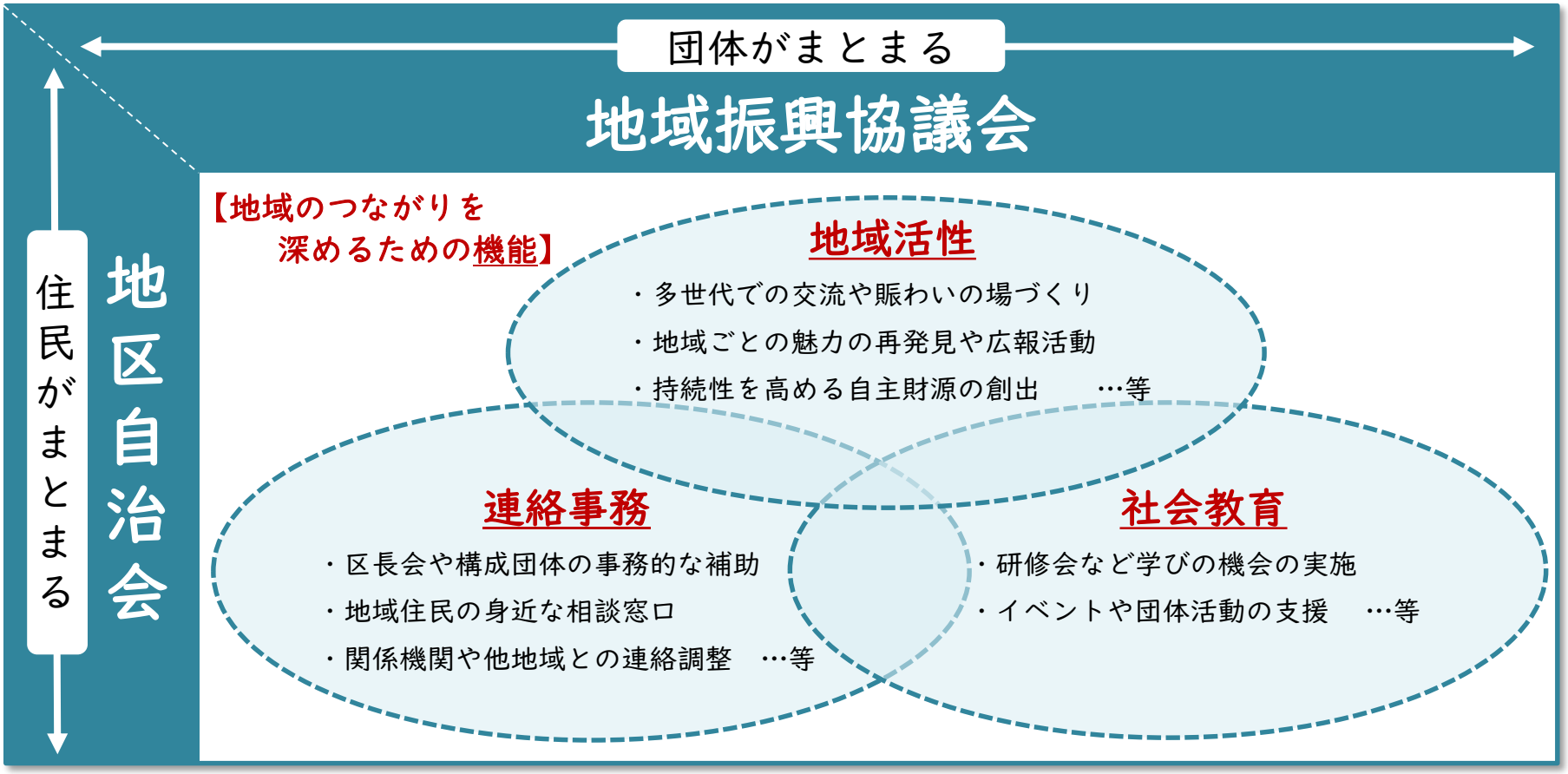
※ 団体名はあくまで一例であり、地域ごとに構成団代は異なります。

「地区自治会」と「地域振興協議会」の関係性について

○ 地区自治会（区長会）は、各自治会が学校区単位で集合した連合組織です。地域振興協議会は、旧小学校区を単位として臼杵市全域（18地域）に設立されています。

○ 地域振興協議会は、それぞれの地域で活動する各種団体が連携して設立された組織であり、その中心として運営を担っているのが地区自治会です。

○ 世代や立場、団体等の枠を超えて地域が連携することでそれぞれの活動がさらに活性化するだけでなく、身近な地域でのつながりが深まることで、地域の一体感や日常生活での安心感が生まれます。



令和５年度「ブロック連絡会議」の開催について

○ 臼杵市の地域振興協議会は、概ね統廃合前の小学校区を基準に市内18地区で設置されています。

○ 人口減少に伴い、市内の地域全体が結束した「一つのチーム」として地域を超えた協力体制等が求められることから、年２回の臼杵市地域振興懇談会を開催するとともに、平成17年の市町村合併前の旧エリアである「臼杵地区」「野津地区」のエリアごとに隔月でのブロック連絡会を開催し、関係機関や地域間での情報交換等を通して、さらなる関係性の強化を図ります。

○ ブロック連絡会議の開催に関しては、臼杵市地域力創生課が準備等の支援を行いますが、それぞれのブロックの特色を活かしつつ、各地域振興協議会が主体となった運営を目指します。

臼杵市地域振興協議会

地域振興懇談会（全体会）

臼杵ブロック連絡会（11地区）

- 中央地区振興協議会
- 南部地区振興協議会
- 市浜地区振興協議会
- 振興協議会 たていし
- 上浦・深江振興協議会
- あまべ 振興協議会
- さしう地区振興協議会
- 下ノ江地区ふれあい協議会
- 下北地区振興協議会
- 上北地区地域振興協議会
- 南津留地区地域振興協議会

野津ブロック連絡会（7地区）

- 野津地区振興協議会
- 都松地区振興協議会
- 田野地区振興協議会
- 西神野地域活性化推進協議会
- 川登地区振興協議会
- 寺子屋ん会
- 戸上地区振興協議会

※ 行政区順

令和５年度「地域振興懇談会」「ブロック連絡会」の開催スケジュール

	臼杵ブロック連絡会議	野津ブロック連絡会議
第1回	５月24日（水）15:00～16:00 臼杵市役所（101・102会議室）	５月25日（木）15:00～16:00 野津中央公民館（農事研修室）
第2回	7月19日（水）15:00～16:00 臼杵市役所（大会議室）	7月20日（木）15:00～16:00 野津中央公民館（農事研修室）
【第１回 地域振興懇談会】　8月23日（水）開催予定		
第3回	9月26日（火）15:00～16:00 臼杵市役所（101・102会議室）	9月28日（木）15:00～16:00 野津中央公民館（農事研修室）
第4回	11月29日（水）15:00～16:00 臼杵市役所（101・102会議室）	11月30日（木）15:00～16:00 野津中央公民館（農事研修室）
第5回	1月24日（水）15:00～16:00 臼杵市役所（大会議室）	1月25日（木）15:00～16:00 野津中央公民館（農事研修室）
【第２回 地域振興懇談会】　令和6年２月下旬に開催予定		
第6回	3月27日（水）15:00～16:00 臼杵市役所（全員協議会室）	3月28日（木）15:00～16:00 野津中央公民館（農事研修室）

※ ブロック別連絡会議は奇数月に開催し、臼杵ブロックは第４水曜、野津ブロックは第４木曜に開催を予定しています。
（祝日と重なる場合は、５週目に開催します）

令和５年度 臼杵市の「守り、支える」地域づくり

○ ヤングケアラー、孤独・孤立、地域交通、生活支援等の地域課題への対応が求められており、単独の機関や部署による支援だけでは、市民の暮らしを支えられない状況が生じている。

○ 既存の機能や機構、人材、財源、情報、ノウハウ等を重ね合わせ、それぞれの分野だけでは解決や伴走が困難な課題に効率的・効果的に対応できる地域づくりを目指す。また、臼杵市という地域全体をフィールドにした連携を展開することにより、地域の持続的発展を支え、地域の一体感や日々の安心感を醸成していく。

地域を支える

地域を守る

【既存の会議体との連動】

- 要保護児童対策協議会
- 自立支援協議会（障がい）
- 自立支援会議（困窮）
- 臼杵市Ｚ会議（医療介護）
- 地域ケア会議　…等

医療
介護
福祉
…

連携基盤

うすきプラットフォーム

～ 分野を問わず、課題や方向性を全体共有 ～

クロスファンクショナルチーム（ＣＦＴ）

課題ごとにＣＦＴを随時編成し、機動性を高める
（例：地域交通、人材不足、ヤングケアラー、孤独・孤立対策等）

心豊かで、笑顔のゆきかうまちを
守り･支える仕組みづくり

備え／予防

相談支援
生活支援
就労支援

生活基盤

地域住民（303行政区の自治会）

18旧小学校区ごとの地域振興協議会（RMO）

地域振興懇談会

臼杵ブロック連絡会　野津ブロック連絡会

地域づくり

【多様な主体による参画と協働】

- 民間企業（銀行、郵便、通信…）
- 教育分野　・防災分野
- IT分野　・若者世代　…等

臼杵市における重層的な支援の推進体制について

○ 臼杵市における重層的な支援体制の整備にあたって、これまでに高齢者分野を中心に培ってきた地域包括ケアシステム構築のノウハウを活かしつつ、各分野が持つスキルやネットワークを持ち寄るための「人（コーディネーター）」と「場（プラットフォーム）」の機能を整えていく。

○ また、わがまちの大きな強みである「地域振興協議会（303の行政区が18カ所の旧小学校区単位でまとまって設立された地域運営組織）」による地域住民の参画と協働を強化するとともに、分野を超えた支援関係者の密な連携を強化できるよう参加型のプロセスを重視した体制整備を推進していく。

相談支援

多機関・多職種で地域を支える

【支える力を高めていく】

どこに相談しても、適切な支援につながる分野横断的な連携体制

『個人や世帯を取り巻く環境に働きかけるための分野横断的な協働体制の整備』

多機関連携の基盤強化

【生活困窮】	【高齢者】	【子ども子育て】	【障がい】	【医療】
福祉課	高齢者支援課	子ども子育て課	福祉課	保健健康課
社会福祉協議会	地域包括	ちあぽーと	相談支援機関	医師会
支援調整会議	地域ケア会議	要対協	自立支援協議会	臼杵市Z会議

・臼杵市役所各課
・臼杵市社会福祉協議会
・臼杵市医師会
・地域包括支援センター
・相談支援事業所
・市民後見センター
・社会福祉法人
・ハローワーク
・グリーンコープ
・ワーカーズコープ
・若者支援団体
・その他支援関係機関
…等

うすきプラットフォーム

～ 分野を問わず、課題や方向性を全体共有 ～

「どこに相談しても、適切な支援につながっていく体制づくり」

クロスファンクショナルチーム（CFT）

課題に応じたチームを随時編成し、機動性を高める

（例：地域交通、ヤングケアラー、孤独・孤立対策等）

地域をフィールドに多様な経路でつながり、あらゆる人に社会参加の機会を増やしつつ、ゆるやかな見守り等を含む寄り添い型の支援が行える体制づくりを行う

参加支援

生活支援コーディネーター
就労的活動支援コーディネーター
就労準備事業者
就労継続支援事業所　等

連動

庁内の各分野に
コーディネート人材を配置
※ 各分野とのつなぎ／戻し

重層的支援会議／支援会議

社会福祉協議会に中核を担う
コーディネート人材を配置

アウトリーチ等（継続的支援）

臼杵市役所
利用者／相談支援事業者
地域包括支援センター
社会福祉協議会　等

連動

地域づくり

コミュニティで地域を守る

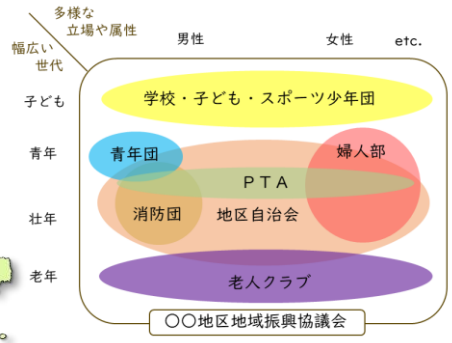
【守る力を高めていく】

魅力的な地域づくりと多様な人々の活躍の場づくり

地域連携の基盤強化

【地域】
地域力創生課
地域運営組織
連絡会等

地域振興協議会のイメージ



※ 団体名はあくまで一例であり、地域ごとに構成団代は異なります。

旧小学校区エリア18カ所すべてに設立された地域振興協議会による「地域間連携」

地域振興懇談会（全18地域／年2回）

野津ブロック連絡会	臼杵ブロック連絡会
（7地域／隔月）	（11地域／隔月）

個人ワーク ／ グループワーク

○ 現在、地域コミュニティとどのような接点がありますか。

○ 地域との協働が図れると、どのようなことが期待できますか。

○ 地域との協働を推進するために、どのような方策が考えられますか。